

# 平成20年度宮古群島病害虫発生予報第3号(6月予報)

## 6月の気象予報

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	40	30	40
平 年 並	40	30	40
低い(少ない)	20	40	20

(平成20年5月23日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

## 地点別の平年値

	平均気温( )	最高気温( )	最低気温( )	降水量(mm)	日照時間(h)
宮古群島(宮古島)	27.1	29.8	25.0	176.8	199.5

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

## 6月の発生予報および防除上の注意事項

### 宮古群島

#### 1 さとうきび

##### 野その防除対策

- 5月下旬に平良池間において野そによる被害が例年より早くみられた。
- 雑草が繁茂した環境を好むことから、除草を行う。
- 剥葉残渣などの野積みに巣を作ることから、野積みを行わない。
- 被害の多い地域では薬剤による防除を一斉に行う。

##### イナゴ類の防除対策

- 5月中旬における見取り調査の結果、例年発生が多い狩俣・島尻地域のさとうきびにおいてタイワンツチイナゴ成虫が多く見られ、牧草・周辺雑草ではヒゲマダライナゴの幼虫が多く見られた。
- 幼虫の発生源となる圃場および周辺の除草を徹底する。
- 発生が多い圃場および牧草地では薬剤防除を行う。
- 薬剤散布の際は、近隣作物へのドリフト(飛散)に注意する。

#### 2 マンゴー

##### 果実肥大～成熟期の病害虫防除対策

- 5月下旬の調査の結果、炭疽病、かいよう病、チャノキイロアザミウマの発生が認められた。
- 罹病した葉や枝等は施設外へ持ち出し処分し、施設内の通気を良くするとともに袋かけの前に薬剤による防除を徹底する。
- チャノキイロアザミウマの発生源となる不必要な新梢はビニール袋に入れるなどして、施設外へ持ち出し処分する。
- チャノキイロアザミウマは水に弱いので、多発圃場では晴れた日に灌水を兼ねて動噴で洗い流すことも密度を下げるのに有効である。
- チャノキイロアザミウマは薬剤抵抗性を発達させやすいことから、同系統薬剤の連用をさける。